

祐天寺駅周辺地区整備構想

素案

平成 31 年 3 月
目 黒 区

【目次】

策定の背景と役割	1
1. 策定の背景	1
2. 街づくり等の取り組み状況.....	1
3. 役割.....	2
4. 目標年次	2
第1章 祐天寺駅周辺の現状と課題	3
1. 地区の範囲	3
2. 上位・関連計画による位置づけ	4
3. 人口・世帯等の現状と課題.....	6
4. 土地・建物利用の現状と課題.....	9
5. 交通環境の現状と課題	12
6. みどり・公園・景観の現状と課題	17
7. 安全・安心（防災・防犯・コミュニティ）の現状と課題.....	19
第2章 地区の将来像と目標.....	25
1. 地区の将来像.....	25
2. 街づくりの目標.....	26
第3章 街づくりの方向性	27
第4章 街づくりの進め方	31
1. 基本的な考え方.....	31
2. それぞれの主体が果たすべき役割	32
3. 段階的な取り組みの実践	33
参考資料	34
1. 地震に関する地域危険度測定調査報告書（第8回）【H30.2 東京都】	34
2. 目黒区の土地利用 2017【H30.3 目黒区】	35
3. めぐる防災マップ【目黒区】	36
4. 祐天寺駅周辺地区整備構想の策定に関する取り組み.....	37

策定の背景と役割

1. 策定の背景

「目黒区都市計画マスタープラン（平成16年3月策定）」において、祐天寺駅周辺地区は、「商業施設をはじめ地域コミュニティを支える多様な都市機能、子どもから高齢者まで、だれもが利用しやすい道路や公共施設が整備され、日常的な活動や交流の中心となる拠点」として地区生活拠点に位置付けています。

また、本地区は、築年数が経過している木造住宅が密集しており、「上目黒・祐天寺地区」として、祐天寺1・2丁目、五本木2丁目の一部を対象に昭和62年から平成18年度までの期間に木造住宅密集地域整備事業を活用した燃えにくい・燃え広がりにくい街づくりの取組みや、近隣商店街にふさわしい建物の整備・誘導を目的とした「祐天寺栄通り地区地区計画」の決定（平成2年1月）などの取組みが進められてきました。

一方、祐天寺駅周辺では、祐天寺駅改良工事（通過線新設工事・駅舎改修）及び駅ビルの建設により、改札口が増設され、駅周辺の歩行者動線が変化することから、平成29年度に駅周辺の町会、自治会及び商店会の代表者による「祐天寺ロータリーを考える会」が結成され、ロータリー改修を行う際の配慮事項を取りまとめた要望書を平成29年6月に目黒区に提出しています。

そして、これらの祐天寺駅周辺における街づくりの変化や取組みを踏まえ、目黒区では平成30年度に「祐天寺駅周辺地区街づくり懇談会」を立ち上げ、区民の皆様の意見を反映しながら地域特性や課題を把握した上で、具体的な市街地整備の展開を検討し、地区の実情に即したきめ細やかな街づくりを行うため、「祐天寺駅周辺地区整備構想」を策定しました。

この構想は、今後の祐天寺駅周辺地区における街づくりの根幹を成すものであり、目黒区では、この「構想」の内容を地元の皆様と共有しつつ、地域住民、関係機関等と連携・協力して、祐天寺駅周辺地区の街づくりを進めていきます。

2. 街づくり等の取り組み状況

◇昭和62年度	・「上目黒・祐天寺地区」の木造住宅密集地域整備事業開始
◇平成2年度	・「祐天寺栄通り地区地区計画」の決定
◇平成12年度	・五本木ふれあい街かど公園開園
◇平成17年度	・祐天寺一丁目ふれあい公園開園
◇平成18年度	・「上目黒・祐天寺地区」の木造住宅密集地域整備事業終了 ・目黒中央中学校開校
◇平成25年度	・祐天寺駅改良工事（通過線新設工事・駅舎改修）開始
◇平成29年度	・田切公園改修 ・「祐天寺ロータリーを考える会」が目黒区に対して要望書を提出
◇平成30年度	・祐天寺駅改良工事完了 ・祐天寺駅ビル完成

3. 役割

地区の状況を把握し、新たな土地利用などの変化に対応できる内容として、今後、取り組むべき街づくりの基本的な方向性を示します。

地区の将来像を定め、目標や街づくりの方向性に基づいて具体的な取り組みができるように計画の体系化を図ります。

地域のつながりを深めるため、街づくりに関わる様々な人たちが意見交換・交流する場を設け、地域コミュニティを活発にして街づくりが効果的に進めていけるようにします。

4. 目標年次

祐天寺駅周辺地区整備構想の目標年次を概ね10年後とします。

なお、社会経済情勢の変化や計画の進捗状況に合わせ、必要に応じて見直しを行います。